

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	倉敷市農産物処理加工施設
(2) 指定管理者	所在地 倉敷市船穂町水江 6 1 1 - 2 名称 ふなおワイナリー有限会社 代表者 代表取締役 岩瀬 吉晴
(3) 公の施設の所管部署	船穂支所（農林水産課）
(4) 評価対象期間	令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 3 1 日まで

2 総合評価結果

(1) 市の評価	今年度は、指定管理者業務仕様書に基づき「(1) 管理運営に関する基本的な事項について (2) 主たる業務について」を重点的に評価した。	総合評価
	<p>(1) 利用者の安全確保、快適な施設環境の維持、効率的・弾力的な運営、施設の利用促進、自主事業への取り組み、といった観点を中心に検査しました。</p> <p>利用者の安全確保等については、災害など、緊急時に備えてマニュアルを作成し、職員に徹底することや、新型コロナウイルス対策として、アルコール消毒・屋外での飲食設備等、来場者に対する対策はもちろん、職員もマスク着用、手指消毒、施設内での密集を避けるなどを徹底し、安全確保に努めていました。</p> <p>また、施設の広報、利用促進については、期間中に緊急事態宣言や、まん延防止重点措置が講じられ、長期間の施設利用制限があり、積極的な活動が実施できない状況でしたが、インターネットを活用し、利用制限期間中においても可能な取り組みができていました。</p> <p>(2) 主たる業務であるワインの製造販売につ</p>	A

	<p>いて、製造は計画通り実施できており、新たにロゼワインの醸造にも取り組み、製品が地元地方紙で紹介され、積極的に取り組んでいることが確認できます。</p> <p>また、ワイン以外の加工品として、アレキを原料としたジャムの製造、県内大学と連携した新品種ブドウの開発、育成、栽培について継続的に取り組んでいます。</p> <p>協定書の達成目標には、出張販売の実施回数が定められています。これについては、新型コロナウイルス感染症対策の影響で実施できていませんが、不可抗力であり、その他の達成目標である、処理量、利用者満足度ともに満たしており、地域農業の振興、商品をとおして倉敷市の知名度アップに貢献しており、評価できる結果でした。</p>	
(2) 指定管理者の自己評価	<p>今期は、マスカットを原料とした白ワインに加え、新たに地元船穂町産マスカット・ベリーAを原料とする赤ワインの醸造、さらに自主事業として県内産のクイーンニーナ及びシャインマスカットによるワイン醸造を受託するなど、設備の稼働向上を図り、年間処理量については目標の15トンを上回りました。</p> <p>また、引き続き倉敷市産ピオーネのストレートジュース、金時人参を原料としたスムージー、マスカットソフトクリームなど、倉敷の特産品を原料とした加工品の製造販売を通じて、地域農産品の周知・宣伝に積極的に努めました。</p> <p>当施設は、醸造設備、来客ホール等の整備により、地域の観光拠点として一定の評価を得つつあるところですが、今期はコロナ禍により前年度、約4500人の入場を記録した9月に閉店を余儀なくされるなど甚大な影響を受け、来場者は1万人余りに止まりました。</p> <p>店舗への来訪者が半減する中、売り上げについては前年度の9割を確保いたしました。今後、更なる販売戦略とより一層の努力が必要であると考えております。</p> <p>来場者アンケートによる満足度については目標の90%を上回っており、概ね高い評価を得ていますが、今後も来場者の声を大切に、より良い施設管理・運営を目指してまいります。</p>	

<p>(3) アンケート結果の概要</p>	<p>回答のあった来場者については、年齢は20歳代から70歳代まで幅広い年代の方の来場があり、市内からの来場者が多く、市外・県外からの来場者は半数以下です。また、利用状況では、初めて利用という方が半数以上あり、新規来場者が多いことは、興味をひく施設であることが推測できます。市外・県外からの来場者が少ないことは、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染対策が大きく影響していると考えられます。</p> <p>管理運営については、全体満足度・職員対応・施設清潔度・安全対策のいずれも不満はなく、満足度は高く良い評価が得られています。</p> <p>商品については、興味をひく商品・購入商品ともにアレキを原料とした白ワインが中心ですが、新商品である赤ワインや、ワイン以外の加工品もあり、今後の商品展開の参考となる結果でした。</p> <p>自由記述では、イベントの開催を期待する声があり、新型コロナウイルス感染症の影響が、施設運営に大きな影響を与えていることが伺えます。</p>
-----------------------	--

3 施設の利用状況

(1) 利用実績	令和3年度 原料処理量	
	マスカット・オブ・アレキサンドリア	10,563 kg
	(含 ジャム加工用)	1,861 kg
	ピオーネ	3,174 kg
	マスカット・ベリーA	2,061 kg
	クイーンニーナ	595 kg
	シャインマスカット	350 kg
	総処理量	16,743 kg
(2) 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ワイン、果実酒類に関する製造並びに販売 ・ワインの原材料となる果樹に関する試験研究及び研究の受託 ・倉敷市内の農産資源を活用した特産品の開発並びに製造販売 ・ワインの原料となる果樹の栽培など 	

4 収支

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	53,215 千円
	(営業損益)	
	純売上高	43,932 千円
	(営業外損益)	
	営業外収益	9,283 千円
	(内 指定管理料)	(4,216 千円)
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	47,989 千円
	(営業損益)	
	売上原価	15,716 千円
	販売費及び一般管理費	30,706 千円
	(営業外損益)	
	営業外費用等	228 千円
	法人税等	1,339 千円
当期純利益		5,226 千円